

北秋田市教育委員会
令和3年8月定例教育委員会会議録

1. 招集年月日 令和3年8月26日(木)
2. 招集場所 北秋田市役所第二庁舎 第三会議室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時27分 閉会：午後3時30分
4. 出席委員 教育長：佐藤 昭洋 委員：佐藤 正俊
委員：佐藤 英樹 委員：蒔苗 隆
委員：藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 教育次長：小坂 竜也 総務課総務係長(書記)：工藤 留理子
総務課長：金田 浩樹 義務教育係長：佐藤 貴子
学校教育課長：山田 理 文化係長：三澤 照美
生涯学習課長：小塚 重光 スポーツ係長：松橋 康浩
スポーツ振興課長：藤野 義則
7. 傍聴者 1名
8. 報告事項 (1) 教育長報告
① 教育長動静
(2) 各課長所管報告
・総務課
① 8月行事報告及び9月行事計画
② あきたリフレッシュ学園
・学校教育課
① 8月行事報告及び9月行事計画
② 学校の状況
・生涯学習課
① 8月行事報告及び9月行事計画
・スポーツ振興課
① 8月行事報告及び9月行事計画

9. 附 議 案 件

- (1) 承認第8号 専決処分の承認を求めることについて（専決第12号 公用車の運転事故について相手方と和解をし、損害賠償の額を定めることについて）
- (2) 議案第48号 令和3年度北秋田市一般会計補正予算（第5号）の北秋田市議会提出について

10. そ の 他

11. 会 議 録

佐藤教育長	ただいまから、8月の定例教育委員会を開会します。 それでは、署名委員の指名をさせていただきます。本日の署名委員は佐藤正俊委員をお願いします。
佐藤正俊委員	はい、分かりました。
佐藤教育長	次に、次第2番「前回委員会会議録の承認」です。事前に事務局から配付されている7月定例教育委員会の会議録の内容について、訂正等がある方はいらっしゃいますか。
委員	ありません。
佐藤教育長	ないということですので、会議録については承認とさせていただいてもよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	承認とします。 続いて、次第3番「諸報告」です。（1）私、教育長から動静について報告いたします。 1ページをご覧ください。30日ですが、マタギの地恵体験結団式をコムコムで行いました。マタギの地恵体験学習は8月1日までの日程で行われましたが、この日の最初の結団式に出られなかったのが、夜、どういうキャンプをしているのか阿仁の帰りに次長と寄ってみました。本来、四季美湖畔公園でキャンプを行う予定でしたが、その日は大雨でテントが張れなくて、急遽、広報館の前でテントを張ってやったとのことでした。私と次長はそのことを知らずに、広報館の前を通って湖畔に行き、「湖畔には誰もいないが、広報館には星を見ている人たちいるな」と言って帰ってきてしまいました。子どもたちの様子を見られなかったのが、次の日、31日は前田公民館

佐藤教育長	<p>に行きました。今年は市内の小学生だけ20名募集したのですが、35名の応募があって、残念ながら15名の方々には涙をのんでもらったということでした。全部一括して分け隔てなく抽選したところ、学年が偏ってしまい6年生が1人しかおらず、ちょっとかわいそうだったと思いました。4、5年生は次の年もその次の年もありますが、6年生にとっては参加できる最後のチャンスなので、次年度以降は人を決めるにあたっては、検討してもらいたいと話してきました。最初の日のキャンプは雨でしたが、その後は順調に晴れてカジカも突いたという報告も受けまして、突けなかった子どもたちも、見つけたけれども逃がした、箱眼鏡で底にいるカジカを見つけたということだけでも、すごい体験だと感じてきたところです。最後まで無事に終わったと報告を受けております。戻りまして7月30日、県学校給食研究協議会大館北秋田大会が文化会館で行われ、全県から約170名の学校栄養教諭等が集まりました。県の教育長も出席されました。この研究会ですが非常に内容が充実しておりまして、秋田北鷹高校の家庭クラブの子どもたちのビデオ発表「地域を元気に！北秋田を盛り上げ隊！！お土産開発プロジェクト」もありました。前に生涯学習課の課員であった相馬君も中に入って、お土産プロジェクトを進めていった様子もビデオで紹介され、高校生が活躍していることもアピールできてとてもよかったと思っています。大館市と北秋田市の栄養教諭も発表したのですが、大館市は「大館はワンダフル」といったテーマで、栄養教諭が実際に作っている農家さんを訪ねてどのようにして作っているか見学し、それをメニューとしてどう取り入れるか研究をしている、といったことを紹介してくれました。紹介してくれた人は、清鷹小の栄養教諭、村木美咲さん。今年大館市から異動になってきた栄養教諭です。北秋田市は、「K・KうめえBEAR給食」。「食え・食え」を「K・K」に、「うめえべあ」を「うめえBEAR（ベア・熊）」にかけて、「K・KうめえBEAR給食」ということで、上小阿仁村と北秋田市で統一献立を作っていて、例えばジャンボインゲンや比内地鶏、それから阿仁蒨、太田の牛蒡、そして松尾和牛等、地場産物を使った給食の献立を工夫していると発表してくれました。これは津谷早苗さんという下川沿中の栄養教諭、去年まで上小阿仁小・中にいて今年異動になった方が発表者でありました。村木さんは北秋田市出身の方ですが、津谷さんも北秋田市にお住まいの栄養教諭で、非常に北秋田市の栄養教諭の皆さんは頑張られております。津谷さんは以前藤里町にいた時に、給食甲子園で金メダルを取った方で、今大会の事務局をやってくれた北部給食センターの細田さんは、上小阿仁小・中勤務の時に全国の給食コンクールで銀メダルを取ったという、全国的にも活躍してくれている栄養教諭が本市にいるというのは本当に誇りでございます。そういった方々が主催した会でしたので、大変充実した会になって、来られた方々の勉強になったというふうに感じておりました。同じ日の夜ですけども、阿仁地区の統合校検討会をやりました。阿仁地区の統合校について、保護者、教職員を含めて50名ぐらゐの地域の方々に参加してくれました。ここで義務教育学校にしたいということと、今後のスケジュールについて提案させてもらいましたが、来てくださった方には理解していただいたというふうに捉えております。詳細はこの後、山田学校教育課長から報告があると思います。ここで、当日参加した佐藤正俊委員から、会の雰囲気など若干お話いただけますか。</p>
-------	---

佐藤正俊委員	<p>当日どのくらい来るのか心配しましたが、教育長がさっき話したようにたくさんの人が来てくれました。教育長の温かさが伝わるお話が、来た人たちに安心感を持たせてくれたのかなと感じました。ありがたかったなと思います。子どもたちをどう育てていくか、地域とどう協力していくかということが、皆さんによく伝わるお話でしたので、安心して任せられるという方向に進んでいるのかなと、そう感じました。</p>
佐藤教育長	<p>ありがとうございます。中身についての詳しいことは山田学校教育課長から後でお願いします。8月2日、ジュニアボランティアガイドの外国語対応サポート事業に行ってみました。9日、伊勢堂岱遺跡のジュニアボランティアガイド、これは7日から11日まで、県内限定で事前予約のあった方を対象に行いましたが、私が行ったのが9日ということです。大変好評で、やはり7月に世界文化遺産登録が決定してから、入館者が急激に増えておりまして、まだ8月は終わっていませんが、おそらく3,000人を超すのではないかと思われるぐらいの勢いで来ていただいております。この後の9月、10月、11月の予約も多数入っておりまして、詳細は小塚生涯学習課長から後で話してもらいたいと思います。テレビも何回も放映されていまして、この前の特番ではジュニアボランティアガイドが報道されておりました。高校3年の井上君が大変活躍していまして、メッセージの中で、「ワーキンググループの活動が刺激になって、自分もやらなくてはと思った」と話してくれていて、いいことを言ってくれたな、いいことを感じているな、とテレビを見ながら改めて感じたところであります。この後もまた、特番でおそらく何度か流れると思いますが、できれば、いつ流れるよということを皆さんにもお伝えしながら、みんなで見られればと思っています。続いて12日、パラリンピックの聖火フェスティバル、縄文館で行いました。比内支援学校たかのす校の九嶋さんに火起こしをしていただいた火を、本市からの聖火の火として採火しました。大型の舞hiri式火起こし器でやったわけですが、非常に大きいので、上手に早く火起こしができたなと思って見ておりました。これもニュースに出て、皆さんに見ていただくことができよかったですと思います。14日、合川まるとび・ふるさと祭りが行われました。北秋田保健所管内でも新型コロナウイルス感染症の陽性者が出たということで、いろいろな行事が中止となっているわけですが、これは最初から無観客でネット配信するということで計画していましたので、実際に行うことができました。オンラインでの開催ということでしたが、私もYouTubeで見たら、当日2,700人を超える人たちがYouTubeで見ている、カウントされているというので、実際にやった時に2,700人が見に来るのかと考えれば、オンラインで開催する、外に発信する、ということについて、当日遠くにいて来られなかった人も、県外の人たちも見られたということではとても意義深い行事であったということを感じました。21日、子どもサミットを行いました。この後、山田学校教育課長から報告があると思いますが、今回は小学校から各1名、中学校から各2名、計17名の予定でしたが、1名欠席で当日は16名の出席で行いました。事前に北秋田市の活性化に対する提案書をそれぞれ子どもたちが考えてきたわけですが、例えば、綴子小はキャラクターどんどんくんという、大太鼓のマスコットキャラクターを考えてくれました。</p>

佐藤教育長	<p>これは学級みんなで話し合ったということでした。それから、阿仁中も全校で話し合った、阿仁地区をガイドする、阿仁合駅の前などにそういったのを作ってみたらどうかというものでした。それぞれ子どもたち工夫していきまして、ぜひ皆さんにも、あとで学校教育課から提案書を届けることができるのではないかと考えています。22日、記載はありませんが、市民俗芸能大会を無観客で行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止ということで無観客にしたわけですが、最初からお願いしていた5団体が、無観客で映像配信をするということでも来てくれるのか心配しましたが、全ての団体が来てくれました。当日は文化会館のステージで演じたものをビデオに収めて、この後、ホームページ等で紹介するといった段取りで行うことができました。出演団体の皆さんには申し訳なかったということで、私がそれぞれにお詫びに行ったわけですが、客が入っていないという緊張感と、また画面越しに映されているという緊張感もあった、こんなことは今まで経験したことがない、また、演じる機会をもらえてよかったという感想などをもらいまして、やってよかったと思いました。この後、配信した時に県外の人たちも見られるということであれば、合川まどびのような次への波及効果も出てくるのかなと感じております。今後、ホームページ等で配信する予定だということです。</p> <p>ちょっと長くなりましたけれども、私の動静について何かご質問、ご意見ございませんか。</p>
委員	ありません。
佐藤教育長	なければ、次に（2）各課所管事項の報告について、初めに総務課からお願いします。
金田総務課長	<p><8月行事報告及び9月行事計画について報告> 資料のとおり。 <総務課報告概要> 1. あきたリフレッシュ学園 (1) 利用状況 学園生13名(中学生8名、小学生5名)前月比増減なし。 (2) 活動内容 資料のとおり。</p>
佐藤教育長	ただいまの報告について、質問や意見などはございませんか。
委員	ありません。
佐藤教育長	なければ、次に学校教育課からお願いします。学校教育課の報告の中で、職員及び児童・生徒に関する内容につきましては、プライバシーに配慮して内容を非公開としてもよろしいでしょうか。
委員	はい。

佐藤教育長	<p>皆さんの同意をいただきましたので、職員及び児童・生徒に関する内容については非公開で報告します。</p> <p>では、学校教育課長から所管報告をお願いします。</p>
山田学校教育課長	<p><8月行事報告及び9月行事予定について報告> 資料のとおり。</p> <p><学校教育課報告概要></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童・生徒数 8月1日現在 1,598名 前月比1名増。 2. クマやサルを目撃情報への対応 資料のとおり。 3. 各小・中学校の修学旅行 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大により、当初の予定から行き先・期日を変更しており、8月26日現在の各校の状況を報告（別紙資料のとおり）。 4. 「阿仁地区3校の統合校について」説明会 <ul style="list-style-type: none"> ・7月30日、阿仁ふるさと文化センターで開催した説明会について報告
佐藤教育長	<p>ただいまの報告について、質問や意見はございませんか。</p>
藤本委員	<p>修学旅行ですが、もし、ギリギリまで検討して変更した時、キャンセル料などは補助で対応できるのでしょうか。</p>
山田学校教育課長	<p>4月の市の校長会では、キャンセル料が発生しないような対応をお願いしています。延期についてはキャンセル料は発生しませんので、校長先生方も実施できるように頑張っていこうとしています。</p>
蒔苗委員	<p>修学旅行に参加する人は決まっているのでしょうか。参加したくないという人はいないのでしょうか。新型コロナウイルス感染の関係で、このような事態になっているわけですから、行かせたくないというようなご家庭はないのでしょうか。</p>
山田学校教育課長	<p>行かせたくないという家庭も学校によってはある、というような情報も得ています。昨年度も同様ですが、ご家庭の判断を尊重しておりますし、そういったことも含めて、事前に保護者の方々への情報提供、それから意思確認は学校でしっかりと進めています。</p>
藤本委員	<p>ワクチン接種のことでお聞きします。先日、うちの16歳の子どもにもワクチン接種の案内が来ました。12歳以上に送っているということで集団接種の日がちがっているわけですが、2回目の接種日が中学校の学校祭と重なったと思って見ました。今週になって、小学校から、診療所や医院での個別接種の日程が加わったというお知らせがあり、選択の幅が広がって、学校祭と重なって接種できないとかそういう</p>

藤本委員	<p>う人は少なくなったのかなと思って見ていました。ただ、親とすれば仕事を休まないで連れて行かれない時間帯だったり、土曜日も1回しかなかったりして、ちょっと思うところもありますけれども、そういった声が聞こえてきたかどうかということと、あと、日曜日や平日に接種するのですが、具合が悪くなって休めば出席停止扱いということでもいいですか。</p>
山田学校教育課長	<p>今回のワクチン接種の情報については、いろいろご心配をおかけし本当に申し訳なく思っています。当初、10月3日に市内4つの中学校は学校祭を予定しておりました。そこに、12歳から17歳までのワクチンの集団接種が1回目は9月12日、2回目10月3日という内容でクーポン券が発送されてきて、中学校の関係の方々のご協力によって学校祭を10月2日に変更しました。変更について各家庭には各学校から連絡がすぐにいったかと思えます。それから、9月12日が1回目ですが、小学校もそうですが中学校も新人大会があって12日に受けることができないとか様々な事情ありますので、個別接種の数を医師会や医療推進課のご協力によって増やすことができました。平日のワクチン接種も可能になりました。また、接種を受けるために学校を早退したり、逆に登校が遅れたりする場合についても、子どもたちに不利益にならないようにしていきたいと考えておりますし、欠席する分や接種後の副反応についても出席停止ということでやりますと、既に各校長先生方には連絡しております。</p>
佐藤教育長	<p>そもそもワクチン接種の日程はもっと遅かったんですよ、当初は。それがワクチンの目途がついたため、できるだけ早くやろうということで日程を繰り上げたわけです。土曜日でもよかったのですが、土曜日にワクチン接種した場合に、次の日に学校祭があれば、もしかして熱が上がったりして行けなくなる子どもがいれば大変だということで、医療健康課では学校祭の日程を知っていたのですが、日曜日の午後から800人規模の接種ができるということで、小学校6年生の9月までの誕生日の子どもから中学生までは、日曜日の午後で対応できるということで計画していたようです。その後、学校と情報をやりとりしたところ、それならば中学校は1日早く学校祭をやってしまおうと、そうすると月曜日は代休になるので、もし具合が悪くても月曜日までは代休で、接種の次の日は休みだからいいだろうということで、学校とワクチン接種の日程の調整を図ったところです。小学校にも協力いただいて、清鷹小と鷹巣東小は2日に学習発表会だったのですが、鷹巣中が2日になったものですから、小学校は逆に3日に学習発表会を移動してもらって、中学校だけではなく小学校にもそういった組みかえをしてもらって、まずワクチン接種を第一に優先して取り組みましょうという方向になったところです。</p>
佐藤英樹委員	<p>新型コロナウイルスワクチン接種のお話ありますが、先ほどの学校教育課の行事予定で9月12日に大北新人総体が入っていましたが、その関係で異議を申し立てる学校とか保護者はいないですか。</p>

山田学校教育課長	1回目の接種が9月12日ということで、野球部にお子さんのいる保護者から学校の方には問い合わせがありました。そういったことも併せて、先ほど説明しました平日にワクチン接種できる所を増やすことをお願いして、おかげさまでそういった野球部員のパターンも接種を保証できるようになっております。
佐藤教育長	他にございませんか。 なければ、次に生涯学習課からお願いします。
小塚生涯学習課長	<8月行事報告及び9月行事予定について報告> 資料のとおり。 <生涯学習課報告概要> ・平成28年度から現在までの伊勢堂岱縄文館の入館者数・ミュージアムグッズ販売金額、令和3年度の団体予約状況について報告(別紙資料のとおり)
佐藤教育長	ただいまの報告について、質問や意見はございませんか。
藤本委員	この入館者数のカウントはどのように行っているのですか。
小塚生涯学習課長	入館いただいた時に、何かあった時のために住所、名前、連絡先を必ず記載していただいております。その数でございますので、実は縄文館に入らず現場へ行かれる方も少なからずおられるのですが、残念ながらその部分はカウントしきれていないのが実情です。間違いなく、縄文館の方に来ていただいた方はここでカウントになっていると考えていただければと思います。
佐藤英樹委員	1点目は入場者数についてですが、最初に行った時は、縄文館の受付で名札をもらってかけて、遺跡を見て帰ってきた時にそれを返却してきたのですが、今回行った時にはそれがなくて名前を書いてきましたけど、いつ出たのか入ったのか確認できないのではないですか。2点目は、今、団体の説明があり、12月以降3月まで縄文館グッズの販売のデータもありますけど、冬期間は雪があるから上まで行く人はいないかもしれませんが、冬期間は今後公開しないのかどうかお尋ねします。
小塚生涯学習課長	受付で名札を渡して回収してカウントしてあったというお話は恥ずかしながら今初めて聞きましたので、多分、私が来る前はそういったやり方だったのではないかと思います。今はコロナ感染拡大を防止するために、そういった使いまわしはやらせない状況でございます。また、もし感染された方が来館していた場合には、すぐに連絡をとらなければいけないことになっていきますので、あえて住所、名前、電話番号を記載いただくことにしております。あと冬期間の上の方の話ですけれども、11月から伊勢堂岱遺跡は冬仕舞いをします。皆さんに見ていただいている石は本物でございますので、損傷しないように、雪が入って融けて、凍みて、割れて、となると大変です。ので、丁寧な冬仕舞いをするようになります。おのずと冬期間は上の方を見ることがで

小塚生涯学習課長	きないので閉鎖します。その代わり縄文館の方でゆっくり見学していただければと考えてございます。
佐藤教育長	冬期についてはやはり課題で、これまでも大学の先生に来ていただいて研修会をやるとか、縄文館に足を運んでもらうような企画をしていたのですが、このコロナ禍で、昨年からそれができなくなって非常に苦しい状況ですが、生涯学習課でも、きっとワクワクして冬期でも行きたくなるような楽しい企画を計画していると思いますので、私も期待しているところです。
佐藤英樹委員	そうですね。冬期も縄文時代の方々はおそこで生活したわけですからね。
佐藤正俊委員	1点目は冒頭で教育長がお話しましたが、マタギの地恵体験、国立市との交流の時は私も参加させていただいて内容もよくわかっているわけですが、班別行動するのでリーダーがとても大事な役割をしていました。例えば班別した時に、いろいろなことをしっかり伝えて活動するということになる、やはり5、6年生がいる方が安心なので、できれば今後やるとすれば、しっかりそこを考慮してやられた方がいいのではないかなと感じます。あともう1点は、民俗芸能大会の件です。ホームページと言っても、ホームページで見られる環境にない家庭もあると思うので、できれば、コムコムでいつも映像流れていますよね。ああいうところで、その様子が流れていると誰でも見られるのではないかと思います。或いは、普段、開催日に見ることができないものを、例えばお祭りとか、根子であれば8月14日の番楽とか、できればそういうのがあった時に、コムコムの大きい画面に映していれば、いろいろな人に見ていただくことができるのではないかなと感じましたので、アイデアをよろしく願います。
小塚生涯学習課長	まず第1点目のマタギの地恵の関係ですね、ありがたいアドバイスをいただいたと考えてございます。一応20人という数ですので4つの班に分けて活動していただきました。おのずとリーダーと副リーダーといったものを私たちが事前に指名してございますが、6年生と5年生がリーダー、副リーダーになっているということでございます。リーダーがしっかり下の子どもたちを見るということも、非常に難儀はするでしょうけれども、リーダーにとっても大切な体験だと思いますので、そこも含めて、今委員にいただいたアドバイスを参考にしながら今後に生かしていきたいと思っております。2点目ですが、出演された方からも言われました。高齢の方々で、インターネットを見ることも知らない、どうやって見ればいいのかとお話いただきまして、DVDに焼いて保存しておくので、そのDVDを貸すということができるのではないかと、という答弁をさせていただきました。今委員にアドバイスいただいたコムコムのモニターで映像を流すということも可能ですので、ぜひ、そういったことを今後流せるように、また今回の5団体以外にも、我々が持っている素材があるので、それらも含め広く市民に閲覧していただけるようなものを検討したいと思っております。

佐藤教育長	<p>阿仁公民館の館長も行事があれば人が来てくれるのだけれども、普段から来てくれる公民館を目指したいという話をしておりました。そういった視点から見ると、コムコムだけでなく、各公民館にもそういった大きなスクリーンを導入できれば、コムコムに来られない人も、或いは各公民館で講座の前に少し早く行って見られるとか、みんなが集まれるような素材というか、「あれ見に行くか」っていうのはすごくいいかもしれません。今後検討してみてください。</p>
蒔苗委員	<p>ミュージアムグッズの販売は誰が担当しているのかということと、それから仕入ですね、どういうものを置くのか。最近だとお菓子も新しいものができていて、そういうものを置くようなことを考えているのでしょうか。</p>
小塚生涯学習課長	<p>まず、販売の実務は会計年度任用職員がおりまして、そちらの方がレジを打つといった体制となっております。参考までに、この前から電子決済も対応できるようになりました。職員が直接打つわけですので、人様のものを売るわけにいかない、ということから、全て北秋田市が買い取ったものを並べているというようなことでございます。具体的に数字の例を挙げますと、例えば1,000円のものがあるとすれば、2割引いてもらって800円で仕入れて、それを1,000円で売って、実質200円市に入るといふそういったことでございます。最近、特にお土産のグッズも売れていまして、また、お菓子屋さんが新たに商品を作ってくださいと非常にありがたく思っているのですが、他の事例を見ると、誤った記載であったり正しくない情報が載ったお土産があるといったことは、もしそういったものが北秋田市で、伊勢堂岱遺跡で売られるとすれば、遺跡に対して誤解を生む可能性があるといったことから、縄文館に置くものは、これは大丈夫です、と協議が済んだものを置くことにしております。限られたスペースではありますが、ちょっと言葉は悪いのですが、誤った表記があるものは置かないといった方針です。</p> <p>今現在、お菓子は売っています。高松堂さんのお菓子を買ってしまして、晩梅さんにも、量は多かったことないかもしれませんが、ぜひ売り場に置きませんか、と担当から連絡しましたが、先ほど言ったとおり1,000円のお菓子を800円で入れてほしいということなので、その承諾が得られるのか、まだ、返事が来ていない状況です。</p>
蒔苗委員	<p>お菓子も買い取りなのですか。</p>
小塚生涯学習課長	<p>そうです。ですので、クッキーみたいに1ヵ月も賞味期限あるものであれば、数個は売れるだろうと買い取りしてもいいのですが、賞味期限が3、4日しかないものは手が出せないというところもあります。いろいろなやり方があるとは思いますが、工夫しながらやっていきたいと思っております。</p>
佐藤教育長	<p>クッキーの型の板状土偶も、晩梅さんの饅頭の板状土偶の焼き印も、今年度、登録商標をとりましたので、使っている業者さんは市の方に使っているかという確認をして使っています。従ってうちの方でも、きちんと吟味しているということです。</p>

佐藤教育長	<p>来館者が非常に増えているので、8月2日から会計年度任用職員を1人増やして、これまで2人体制だったのですが3人体制にして、まず2人はそこに居られるように体制を組み直しております。来館者の増加に対して、対応する職員を増やしてはおりますが、お盆の14日でしたかすごく混んで1日300人超えた日がありまして、その日は職員の方々も、あの日1日、どういう対応したか記憶にないくらい忙しかったというようなお話でしたので、お土産の方の動きも多かったのではないかと感じています。私も縄文館へ行けば、職員にどうですかと聞いてみているのですが、2人体制になってお昼食べる時間がきちんとできてよかったというお話をいただいています。</p>
藤本委員	<p>今回、娘が初めてジュニアボランティアガイドに参加させていただきました。水分補給や休憩など、十分気づかれました。安心して参加させることができました。1日は雨で流れましたが、もう1日で2回体験させていただきました。本当にいい年に体験させていただいたと思っています。残念ながら娘の友だちはいなかったのですが、かえってそういう同じ気持ちのある児童生徒の交流の機会にもなり、本当によかったと思っています。ありがとうございました。</p>
佐藤教育長	<p>他にございませんか。 ないようでしたら、次にスポーツ振興課からお願いします。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p><8月行事報告及び9月行事予定について報告> 資料のとおり。</p>
佐藤教育長	<p>ただいまの報告について、質問や意見はございませんか。</p>
佐藤英樹委員	<p>オンラインマラソンというのは、どのようにしてやるのでしょうか。私でもできるのでしょうか。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p>私も詳しくないのですが、自分が持っているスマートフォンのGPS機能で座標を讀んでどこからどこまで走るというのを公認するというシステムのようなようです。9月18日から24日までの期間内に通算で100km走ればよいということです。例えば1日50km走ったら次の日から10kmずつだとか、20kmずつ走って100kmに到達するだとか、様々だそうです。場所は日本全国、海外もそうですが、GPSが機能できる場所であればどこでもいいそうです。</p>
佐藤英樹委員	<p>脚で走っているのか、例えば自転車で走っているか、わかるものですか。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p>私も同じ質問をしてしまったのですが、実際のところわからないそうです。ただ怪しいケースもあるようです。移動距離がすぐ座標で出るので、普通、人が走って到達できる距離でなければ怪しいと。ただ自主申告なので、主催者側からバイクで走っていないか等、確認はしづらいということでした。自主申告によって紳士的に行われる</p>

藤野スポーツ振興課長	というのが要件になっているようです。実際に他の事例では、自転車で走った人はいたそうです。
佐藤教育長	これは何か賞品とかあるわけではないですね。
藤野スポーツ振興課長	参加料が8,000円でして、新米あきたこまちと仙北市、北秋田市、上小阿仁村の地域特産品の中から抽選して送られるようです。
佐藤教育長	1位、2位を決めるということではないですね。
藤野スポーツ振興課長	順位はありません。完走賞とこの事業に参加したという証明書が出るもので、あとは地域特産品が送られるということです。
佐藤教育長	他にございませんか。 なければ、次第4番「案件」に移ります。(1)承認第8号 専決処分承認を求めることについて(専決第12号 公用車の運転事故について相手方と和解をし、損害賠償の額を定めることについて) 説明をしてください。学校教育課長。
山田学校教育課長	<承認第8号説明>
教育長	ただ今の説明について質問はございませんか。
委員	ありません。
佐藤教育長	なければ、承認としてよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	皆さんの同意を得られましたので、承認とします。 次に、(2)議案第48号 令和3年度北秋田市一般会計補正予算(第5号)の北秋田市議会提出については、9月定例会に提出するものですが、議会の告示前のため非公開で審議したいと思います。よろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	皆さんの同意をいただきましたので、議案第48号は非公開で審議いたします。
小坂教育次長	<非公開：議案第48号説明・質疑応答>

佐藤教育長	原案のとおり決定してもよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	皆さんの同意を得られましたので、原案のとおり議決とします。 次に、次第5番「その他」に移ります。はじめに、学校の状況について非公開資料の報告をいたします。学校教育課長。
山田学校教育課長	<非公開資料>
佐藤教育長	次に、(1) 次回の定例教育委員会について、事務局からお願いします。
事務局	次回の定例教育委員会は、9月30日木曜日午後1時30分から、市役所第二庁舎1階第三会議室を予定しております。
佐藤教育長	(2) その他ですが、何かありますか。
佐藤英樹委員	先般、新聞に大館地区の閉校した小学校の校歌を集めてCDに収録という記事が載っていたと思うのですが、実は私の出身校、小中高とも全部閉校してしまっていて、校歌を聞きたくても聞く手だてがないので、昨年、前小林学校教育課長にお話したこともあったのですが、これから統合して閉校が続いていくので、そういう企画を北秋田市でも考えて残してもらえないでしょうか。新聞では、楽譜のないものはわかる人に聞いて、楽譜を掘り起こして作ったということもあったので、ぜひ考えてもらいたいと思ひまして話させていただきました。
佐藤教育長	旧比内町の学校で、地域の方々が中心になって作ったということでしたけれども、確か北秋田市はそれぞれの学校が残っているはずではなかったですか。いずれ残っていなければ、今歌える人はOBしかいませんので。
佐藤英樹委員	もしできたら先ほど佐藤正俊委員がお話したように、郷土芸能を公民館などで見られるような形で残していただくように、聞きたい人はコムコムに来て聞いていただくとか、そういう企画も考えていただければありがたいと思います。
佐藤教育長	今後閉校が予定されている学校もありますので、あわせて、学校教育課で検討してみてください。
山田学校教育課長	一大事業だと思いますので、検討してみます。

佐藤教育長	ちなみに合川北小は閉校行事の時にCDに焼きつけて、配付していました。家にも合川北小の校歌はあります。
金田総務課長	旧合川町の小・中・高等学校の校歌をレコードにしています。
山田学校教育課長	旧町によっていろいろと差があるようなので、まずは情報を集めるところ始めたいと思います。
蒔苗委員	教職員のコロナウイルスワクチン接種の進捗状況はどうなっていますか。
山田学校教育課長	7月に入り、集団接種の際、その日のワクチンに余分が出た時には、教職員に摂取するという事で医療健康課に取り組みをしていただき、北秋田市内に住所があつて、北秋田市内の小中学校に勤務する教職員の名簿等を届けまして、接種を進めることができました。最終的に何%か明確には把握しておりませんが、私の方には打てずに困っているという先生方からの問い合わせ等は全くきておりません。いずれクーポン券は発送済と認識しています。
蒔苗委員	都会の方では先生たちが未接種で、先生たちから広がってしまうのではないかとこの恐れというか、父兄からそのような話が出ているということも聞いていますので。
佐藤教育長	アメリカ・ニューヨーク州では、公立学校の先生全員に接種を義務づけるというのがニュースで出ておりましたが、そこまでできるのか厳しいところもあると思います。いずれクーポン券の発出の方はすべて終わったということですね。
山田学校教育課長	そのように認識しております。
佐藤教育長	あとは、本人がどこまで接種できているか、というところについては把握はできていないということですね。なかなか把握するのは厳しいかもしれませんね。
山田学校教育課長	ワクチン接種したかどうかの調査については、できないのではないかと認識しているところです。
蒔苗委員	父兄からそういった問い合わせがあった場合どうなりますか。うちの学校の先生は大丈夫ですかというような問い合わせを受けた場合にどう答えますか。
小坂教育次長	クラスター発生防止のために、そういった観点からも教職員のクーポン券発送を早めて、年齢に関係なく発送してもらいました。教育委員会としては、そういった対応をさせていただいている、というところまでの回答となると思います。
蒔苗委員	あくまでも任意なので、強制はできないのですが。

小坂教育次長	そのように認識しております。
佐藤教育長	私たちとすれば、クーポン券を優先的に配付したことでキャンセルが生じた場合に受けてもらっている、とそういった説明をするしかないということです。何人受けていますとか、全員受けていますとか、そういったことは確認できないということですね。
小坂教育次長	はい、そうです。
佐藤教育長	その他、何かございませんか。
委員	ありません。
佐藤教育長	なければこれもちまして、8月定例教育委員会を閉会いたします。

(午後3時30分閉会)